

# 事業概要シート

施策	1801	道路網の整備	《》の金額	現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く
事業名	古賀島沖田線整備事業	新規	予算額	58,500 千円
事業期間	令和5年度 ~ 令和12年度	財源内訳	国庫支出金	25,000 千円
根拠法令要綱等	都市計画法		県支出金	0 千円
			地方債	30,100 千円
			その他	千円
			一般財源	3,400 千円

**【事業の目的・概要・対象】**

**【事業目的】**

南北に縦断する補助幹線道路を整備し、国道34号と市道杭出津松原線を補完する。

**【概要・内容】**

当路線は、令和2年度の都市計画道路の見直しにおいて優先度が高いと認定され、整備済の古賀島沖田線を北部に延伸する都市計画道路である。

計画延長幅員 L=900m W=17m

**【対象】** 当該道路利用者・当該地区住民

**計画幅員**

											17000
2000	1500	500	1500	3000	3000	1500	500	1500	2000		
歩道	植樹帯	路肩	自転車通行帯			自転車通行帯	路肩	植樹帯	歩道		

**位置図**



**【背景】**

本路線は立地適正化計画において居住誘導区域に設定され、周辺の適正な土地利用を促進することが求められている。また、近年、住宅地として整備が進み人口が増加している黒丸地区や沖田地区のアクセス向上や歩道空間の整備が必要な路線として都市計画道路見直しにおいても整備優先度が高い路線として選定されている。

担当課	都市整備部道路整備課	課長	内田 清和
担当者	森 哲哉	問合せ先	0957-53-4111 (内線424)

## 事業概要シート

### 【活動指標】

指標名		単位	R 3 (実績)	R 4 (計画)	R 5 (計画)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	
①	整備率（事業費）	計画値	%	0	0	4.0%	30.2%	54.7%
②		計画値						

### 【成果指標】

指標名		単位	R 3 (実績)	R 4 (計画)	R 5 (計画)	R 6 (計画)	R 7 (計画)
①		計画値					
②		計画値					

### 【予算・決算】（千円）

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	合計
事業費	0	0	0	58,500	380,000	355,000	793,500
国庫支出金				25,000	187,500	177,500	390,000
県支出金							0
地方債				30,100	173,200	159,700	363,000
その他							0
一般財源				3,400	19,300	17,800	40,500
人件費	0	0	0	35,626	35,626	35,626	106,877
職員(人)				4.80人	4.80人	4.80人	14.40人
時間外勤務(h)				360h	360h	360h	1080h
会計年度任用職員(人)				0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
フルコスト	0	0	0	94,126	415,626	390,626	900,377

妥当性 (市の関与)	交通ネットワークび整備は、都市の交流促進、国土強靱化に必要である。
有効性 (施策貢献度)	市内の円滑な交通処理によるアクセス向上と居住誘導を促進する。
効率性 (コスト)	適切な工法で設計し、効率的な施工計画を策定する。

1次評価	担当者の記載のとおり
2次評価	1次評価のとおり